

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公表番号】特表 2005-525015 (P2005-525015A)  
 【公表日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032  
 【出願番号】特願 2004-502263 (P2004-502263)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 Q 9/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 1 1 P

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 4 月 21 日 (2006.4.21)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

制御ステーション及びサブステーションを有し、該制御ステーション及びサブステーションが当該ステーション間で通信媒体を介して通信を行うための通信手段を有するシステムであって、

前記制御ステーションは制御コード信号を送信するための送信手段を有しており、該制御コード信号とともに該制御ステーションを識別する識別コード信号を送信し、また前記サブステーションをバインディングモードにおくための手段を有し、

前記制御ステーションによって制御可能な前記サブステーションは、

- 前記制御コード信号及び前記識別コード信号を受信するための受信手段と、

- 制御コマンドを処理するための実行手段と、

- 少なくとも、制御ステーションの識別コードと制御コードとを有する登録事項を表形式で記憶するためのテーブル手段と、

- テーブル処理手段と、を有し、該テーブル処理手段は、

- バインディングモードにおいて、新たな登録事項を入力せよ又は既存の登録事項を取り除けという、制御ステーションから受信したコマンドに基づいて前記表を更新し、

- ノーマルモードにおいて、受信した識別コード及び制御コードが前記表に記憶されているか否かを検証し、記憶されていない場合には前記実行手段を無効化する、ための手段である

システム。

【請求項 2】

前記サブステーションが該サブステーションを識別するための識別コード信号を送信するための送信手段を有し、

前記テーブル処理手段は、また、該テーブル手段が少なくとも 1 つの識別コードを含む場合に、前記制御ステーションから受信した識別コードが該テーブル手段に記憶された識別コードと一致しないということが決定された後に、ノーマルモードにおいて、前記サブステーションの前記送信手段を無効化し、前記決定がされた後に、前記テーブル処理手段を前記ノーマルモードに維持する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

制御ステーションとサブステーションとのバイディングを構成するための方法であって、

前記制御ステーションをバイディングモードにし、

該サブステーションをバイディングモードにおくために、前記制御ステーションから前記サブステーションにバイディングモードメッセージを送信し、

前記サブステーションから前記制御ステーションにサブステーション識別コードを送信し、

前記制御ステーションの記憶部に前記サブステーション識別コードを記憶し、

前記制御ステーションから前記サブステーションにバイディング要求メッセージを送信し、

前記サブステーションから前記制御ステーションに第一の確認メッセージを送信し、

前記制御ステーションから前記サブステーションに、制御ステーション識別コード及び制御コードを有するバイディング制御メッセージを送信し、

前記サブステーションに備えられたテーブル手段に、前記制御ステーション識別コード及び前記制御コードを表形式で記憶し、

前記サブステーションから前記制御ステーションに第二の確認メッセージを送信する方法。

#### 【請求項 4】

制御ステーションを使用してサブステーションを制御する方法であって、該サブステーションはテーブル手段、実行手段、及びコマンド出力部を有するものであり、該方法は、

制御コード、制御ステーション識別コード及び制御コマンドを有する制御メッセージを、前記制御ステーションから前記サブステーションに送信し、

前記制御ステーション識別コード及び前記制御コードが前記テーブル手段に記憶されているか否かを検証し、

前記制御ステーション識別コード及び前記制御コードが前記テーブル手段に記憶されていない場合、前記実行手段を無効化し、

前記制御ステーション識別コード及び前記制御コードが前記テーブル手段に記憶されている場合、前記コマンド出力部に前記制御コマンドを供給するために前記実行手段を有効化する方法。

#### 【請求項 5】

サブステーションとの間で通信媒体を介して通信を行うための通信手段を有する制御ステーションであって、

前記制御ステーションは制御コード信号を送信するための送信手段を有しており、前記制御コード信号とともに該制御ステーションを識別する識別コード信号を送信し、

また前記制御ステーションによって制御可能な前記サブステーションをバイディングモードにおくための手段を有し、

バイディングモードにおける前記サブステーションに、新たな登録事項を入力せよ又は既存の登録事項を取り除けというコマンドを送信する制御ステーション。

#### 【請求項 6】

制御ステーションとの間で通信媒体を介して通信を行うための通信手段を有し、該制御ステーションによりバイディングモードにおかれるサブステーションであって、

前記制御ステーションから送信される制御コード信号及び識別コード信号を受信するための受信手段と、

制御コマンドを処理するための実行手段と、

少なくとも、制御ステーションの識別コードと制御コードとを有する登録事項を表形式で記憶するためのテーブル手段と、

テーブル処理手段と、を有し、該テーブル処理手段は、

- バイディングモードにおいて、新たな登録事項を入力せよ又は既存の登録事項を取り除けという、前記制御ステーションから受信したコマンドに基づいて前記表を更新し、

- ノーマルモードにおいて、受信した識別コード及び制御コードが前記表に記憶されて

いるか否かを検証し、記憶されていない場合には前記実行手段を無効化する、ための手段である  
サブステーション。